

日本の最新
ジャズ・ニュース

J.J. Times

2011 February vol.6

News on
Japan

協力:古源恵美,佐藤英輔,常見登志夫,西原真志

EVENT

30年目を迎え、さらにレベル・アップした《浅草JAZZコンテスト》が開催



小林ゆうこ (ヴォーカル部門グランプリ受賞)



石川ジュニア・ジャズ・アカデミー・オーケストラ (審査委員特別賞) Photo by T.Tsunemi



甲南プラス・アンサンブル (バンド部門グランプリ受賞)



受賞式の模様

Photo by T.Tsunemi

第30回の節目を迎えた《浅草JAZZコンテスト》が12月11日に行われた。ヴォーカル部門には約100組の応募の中から一次審査を通過した10組が、バンド部門には約35組の中から勝ち抜いた10組が本選に参加。ヴォーカル部門のグランプリには小林ゆうこが、バンド部門のグランプリには甲南高校の甲南プラス・アンサンブルが輝いた。その他の各部門の受賞者は以下の通り。

ヴォーカル部門金賞に井元理恵、同銀賞にSARI、バンド部門金賞に二見勇氣(p) 浅草スペシャル・トリオ、同銀賞に

ハロ・バンド。審査委員特別賞には、小学生から高校生が参加する石川ジュニア・ジャズ・アカデミー・オーケストラ。来場したお客さんの投票による浅草ジャズ賞も甲南プラス・アンサンブルが受賞し、2冠を勝ち取った。

レベルは全体的に高く、その分、厳しいながらも的確な講評が相次いだ。審査委員長を務めた原信夫氏は、「30年でレベルが相当高くなったが、ジャズにはルールがある。独創性やチャレンジ精神が何よりも重要。テーマやメロディを多様に表現する心を養うことが大切」とコ

メントし、本コンテストを締めくくった。(常見)

北海道の国際ジャズ祭《サッポロ・シティ・ジャズ 2011》早くも始動

初開催から今年で5年目を迎える《SAKKORO CITY JAZZ》(SCJ)は、海外著名アーティストも交え、7月中旬から8月初めのほぼ半月にわたって、札幌市内各所で演奏が繰り広げられる国内でも類を見ない一大ジャズ・イベントだ。